

## 1. 岡谷市や川岸地区の特色を活かした外観づくり

【正面から見た「認定こども園」外観イメージ】



【武井武雄作品の鳥のモニュメント】



- ・武井武雄作品の鳥の絵をリズム室の壁面に掲げます。
- ・夜間は照明で照らされた鳥が園児の降園を見守ります。

【「どうぶつえん」のスタンドグラス】

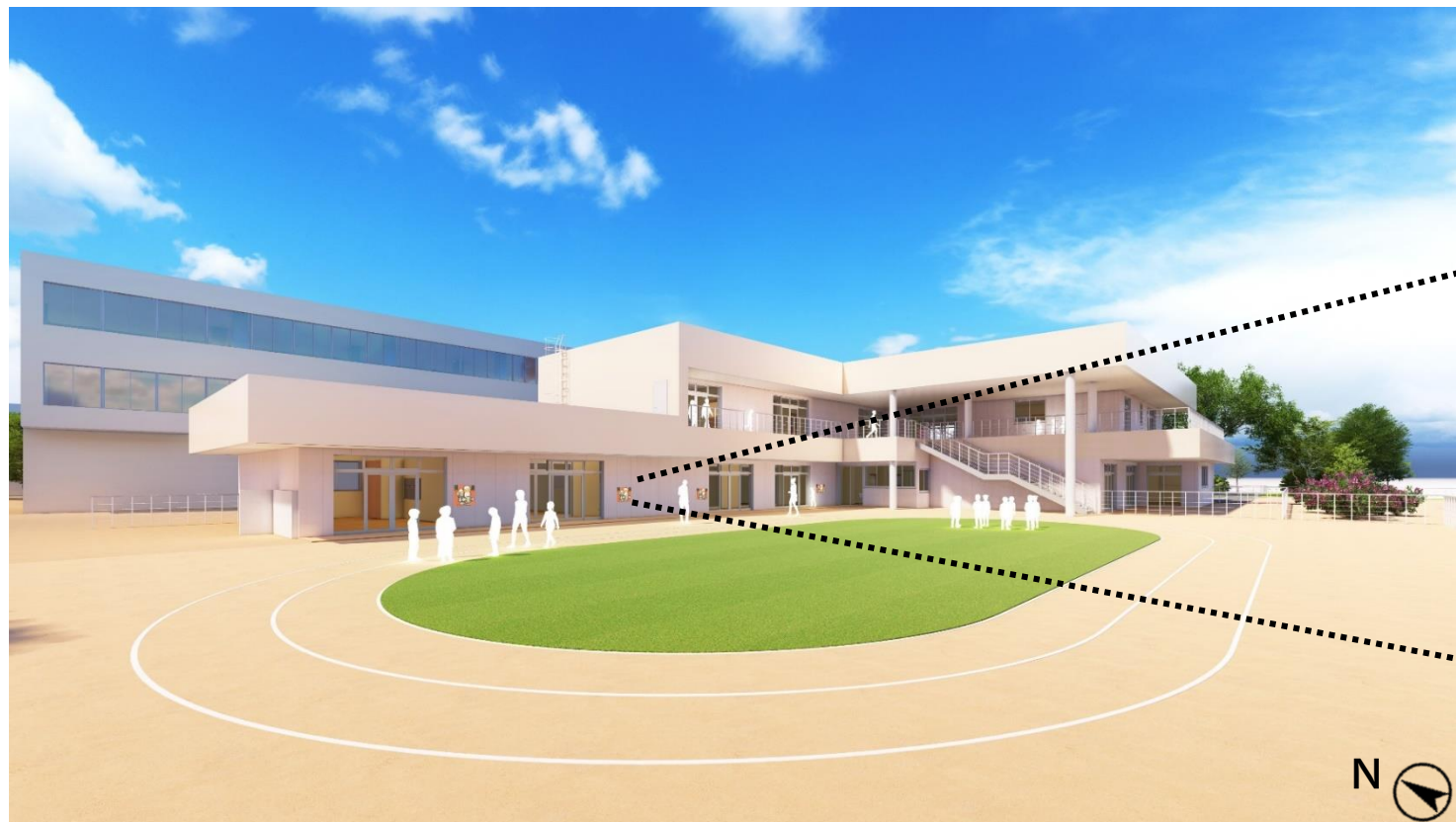


- ・武井武雄作品の「どうぶつえん」の絵をスタンドグラス風に加工し、正面玄関付近の大窓に掲げます。
- ・やさしい朝の光と共にどうぶつと鳥達が園児を登園を見守ります。

サイズ：2,000mm×2,000mm

「どうぶつえん」の絵

園庭側から見た「認定こども園」外観イメージ



【新園名の絵札】



- ・武井武雄作品の「幼児標準カルタ」を用い、認定こども園の新園名をカルタの絵札で表現します。
- ・園庭側の外壁に掲げ、認定こども園と武井武雄作品への愛着心を育みます。

サイズ：600mm×900mm

「幼児標準カルタ」の絵札はイメージ

## 2. 童画に親しみ、統合4園の歴史を受け継ぐ内観づくり

【統合4園を象徴するモニュメント】



・統合する保育園4園（川岸・成田・夏明・つるみね保育園）を象徴するモニュメントを階段上部の壁面に掲げます。  
 ・統合4園で大切にしてきた自然、つつじ、天竜川などの特色を新園開園後も大切にすることを培います。  
 ※保育士が描いたイラストをカラー印刷後、イラストの外側部分を園児が着色して仕上げます。

サイズ：1,500mm×1,500mm

### 【武井武雄作品と触れ合う絵本コーナー】

・ロビーに設置予定の絵本コーナーでは、周辺の壁に「子どもの心にふれる絵」を創造するために生み出した武井武雄の「童画」のキャラクターを掲げ、武井武雄の作品や郷土を大切にする気持ちを育みます。

### 【お絵かきコーナー】

・階段下は、袋小路で園児たちのワクワク感や探求心を刺激する秘密基地のような空間となっております。お絵かきコーナーを設け園児が武井武雄のキャラクターや好きな絵を自由に描くことで、自分の感じたことや想像した世界を形にする表現力や、完成させることで「自分でできた」という自己肯定感を育みます。

### 【「どうぶつえん」のスタンドグラス】

・絵本コーナーの大窓には、反転した「どうぶつえん」の絵を内側から楽しむことができ、スタンドグラスを通して床に映りだされた様々な色も同時に楽しむことができます。



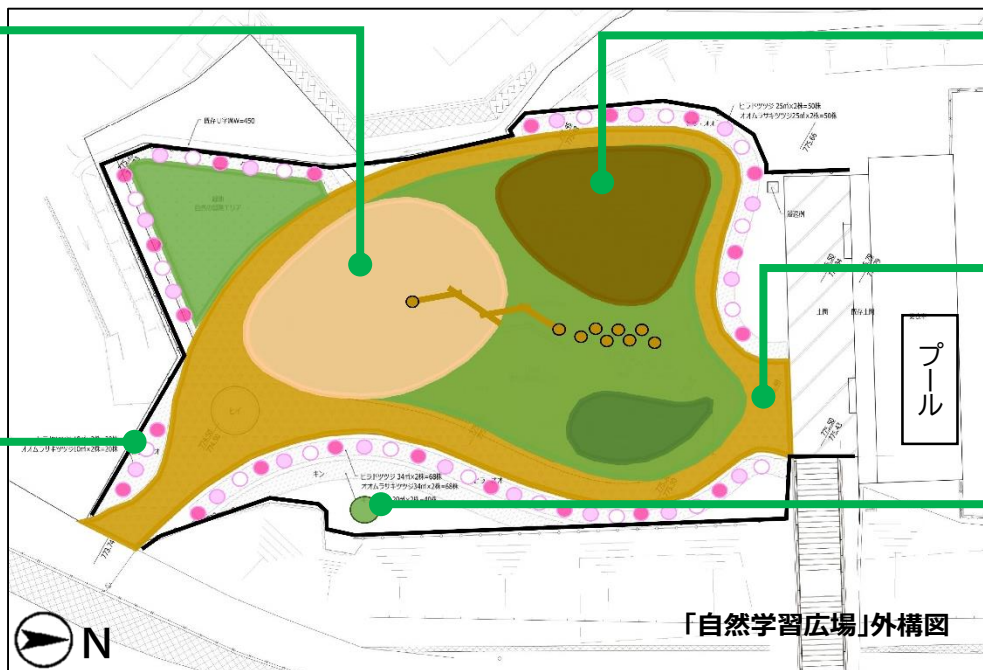
「絵本コーナー」イメージ

## 3. 自然に親しむ自然学習広場の創出

・園舎北側（現在の川岸小学校第二体育館跡地）の高台で園児や児童が樹木・草・花などの自然を感じ、遊んだり学んだりすることのできる自然学習広場を整備します。

・土と緑地のスペースに分けて活動的に遊べる広場です。簡単な木製遊具を配置します。

・周囲には鶴峯公園の象徴である「つつじ」を活用した学校づくりに取り組む、現在の岡谷西部中学校の生徒と共につつじを植栽し、川岸学園全体で自然に親しむ環境を整えます。



「自然学習広場」外構図

・ブルーベリー栽培等を取り入れ、農作物などを作る楽しさを学びます。

・木製チップを敷き詰めた柔らかく安全な回遊路を整備します。

・川岸小学校で大切にしてきた自然を最大限に活用して鳥の巣箱の設置や、木陰で休むことのできる広場にします。



「自然学習広場」イメージ

義務教育学校第二グラウンド

認定こども園園舎